

オリックスが新型トラック 普通免許で運転 2月に－人手不足に対応

2021/01/23 20:00 日本経済新聞電子版 617文字

オリックス傘下でレンタカーなどを手掛けるオリックス自動車は2月にも普通免許で運転できるトラックを投入する。宅配などでの利用を見込む。新型コロナウイルスによる巣ごもり需要で物流量が増え、宅配業界ではドライバー不足が深刻だ。トラック用の免許を持たない人も運転できるようにし、物流網の維持につなげる。

投入するのは荷物用のコンテナを後部に備える「アルミバン」と呼ぶタイプ。久松自動車販売（大阪市阿倍野区）と組み、トヨタ自動車の小型トラック「ダイナ」にコンテナをつけた。

積載重量は1トン程度と小型トラックの半分以下だが、容量は同じという。積載重量を制限して車体と合わせた総重量を、AT限定の免許の条件である3.5トン未満に抑えた。

リース料は月5万4500円から（税抜き）で、購入する場合は388万円（同）から。商用車販売サイト「トラック王国」を通して全国の企業や個人に販売する。

現時点で日野自動車やいすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バスなど大手商用車メーカーは普通免許で運転できるトラックを販売していない。アルミバンを運転するには新たに準中型免許を取る必要があり、ドライバー不足の一因とされている。

トラック王国によると、普通免許で運転できるトラックを紹介するウェブページへのアクセス数は2020年6月に前月比2倍超の4万回となるなど潜在需要は高いとみる。今後は外出自粛により落ち込む飲食業やサービス業からの物流事業への切り替えも増えると見込む。



A T限定の普通免許で運転できるトラックで女性や若者などをターゲットにする

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

許諾番号30080480日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。